

あと15分……

海に向ってどこまでも

いつまでも走ってゆきたい。

富田尚

あと15分

重苦しい雲から雨がしたたりおちてくる。

彼女は、我々の意志を打ちくだき勝ち誇るうとすまでもなく、

じっと腰をすえて、彼女の中を走りぬけてゆく我々を見ている。

あと10分

我々の後ろから彼女は見てくる。

どうしようもない欲望にとりつかれている5人と、

海の怒濤が、タイヤ、ハンドル、ペダル、サドル……から

私の体へ伝わってくる。

彼女はもうすぐそこへ、

あの林の向うでまっさか、さっと。

海岸道路を横切る。

すぐさま視界が

幾重にも重りこむ白波、

波打った、黒い砂

白波に重苦しくのしかかると、7ブルーの雲

ご一杯になる。

驚きと感動で、5人は、大きい自然を前にだけ見ているだけ。

一人が走り出す。 四人も手配。

海に向って。 どに手でも。 どに手でも。 走ってゆきたい。

表打ら際に足を止めろ。 じっと海をみつめる。

めっけに刺かれることの無い心の奥底から。

打寄せろ表のどとく。

大きくなり。 小さくなり。 喜びがこみあげてくる。

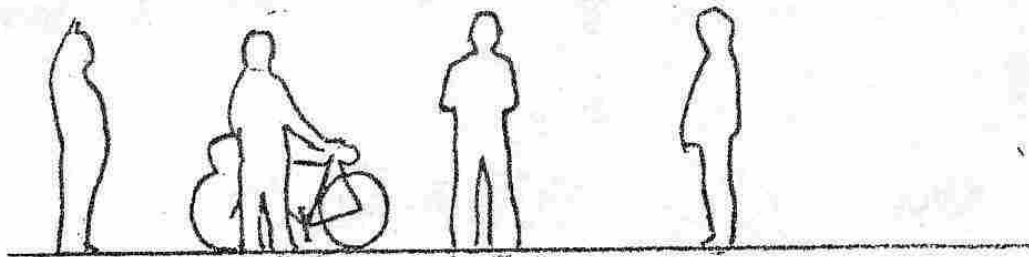
下っ下一つの雲の切れ目から ゆっくりと太陽が姿を現わす。

日出だ！

歓びが一気に爆発する。

あたたかい光につつまれていついつと上ってゆく。

まぶしい光が、体の中をすきとおってぬけてゆく。



海にむかって。 どに手でも。

いつまでも 走ってゆきたい

どに手でも。

九十九里。 99km の 1stラン。

